

健康づくり審議会規則第9条に基づく小委員会である「地域・職域連携推進協議会」の平成25年度開催状況については、以下のとおりです。

1 開催日時等

区分	開催日時・場所・出席者	議題
1回目	8月30日(金) 14:00~15:30 兵庫県中央労働センター 2階会議室 出席:15名	(1) 健康づくりチャレンジ企業補助金への申請案件の審査について ・採択17件/提案20件  (2) 兵庫県健康づくり推進実施計画に基づく今後の取り組みについて
2回目	11月25日(月) 13:30~15:30 兵庫県医師会館 6階会議室 出席:15名	(1) 健康づくりチャレンジ企業補助金への申請案件の審査について ・採択14件/提案14件  (2) 働き盛り世代の健康づくりの推進に対する今後の取り組みについて
3回目	1月31日(金) 15:30~17:30 兵庫県中央労働センター 2階会議室 出席:13名	(1) 健康づくりチャレンジ企業補助金へ申請案件の審査について ・採択6件/提案6件  (2) 働き盛り世代の健康づくりの推進に対する今後の取り組みについて

〔委員数： 委員数 19人（健康づくり審議会委員3人、専門委員16人）〕

【参考】地域・職域連携推進協議会の設置目的

国民の生命・健康を脅かす主要な疾患となっている生活習慣病（がん、心臓病、脳卒中、糖尿病等）を予防するためには、個々人の主体的な健康づくりへの取組に加え、健康教育、健康相談、健康診査等の保健事業による生涯を通じた健康管理を支援するとともに、地域の実情に応じたメンタルヘルス対策の推進を図ることが必要である。このため、地域保健と職域保健の連携をすることで、健康づくりのための健康情報の共有と保健事業を共同実施するとともに、保健事業の実施に要する社会資源を相互に有効活用し、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制について協議を行うものである。

## 2 主な意見

### (1) 兵庫県健康づくり推進実施計画に基づく今後の取り組みについて(1回目)

#### ア 企業・事業所での健康づくりの現状

- (ア) 50人以上の事業所では、ほぼ100%が定期健診を受診しているが、30人未満になると85%程度に低下している。小規模の事業所ほど健康づくりの対応が遅れており、啓発や支援が必要である。
- (イ) 業所の歯科健診を呼びかけているが手を挙げる事業所が少ない。
- (ウ) 事業所で健康づくりを進めるためには、管理者への更なる働きかけが必要である。

#### イ 団体が連携をした効果的な事業の進め方

医師会、歯科医師会、薬剤師会の連携で働き盛り世代にターゲットを絞った禁煙指導を始めている。団体間のコラボで健康づくりの入り口を大きく開き、取り組みをはじめた人に濃密な支援を実施することが重要である。

### (2) 働き盛り世代の健康づくりの推進に対する今後の取り組みについて(2回目・3回目)

#### ア 企業・事業所での健康づくりを推進するための課題

- (ア) 働き盛り世代に情報が届きにくく、健康づくりの認識や行動ができていない。
- (イ) 働き盛り世代は歯周病の問題が大きいが、健診制度がある学齢期や高齢者に比べ、働き盛り世代については定期健診項目に歯科が含まれていない。
- (ウ) 企業の中での効果的な展開には、事業所の管理者の意識付けが重要である。

#### イ 健康づくりを推進するための効果的な事業の進め方

- (ア) 健康づくりへの関心を高める機会を数多く設ける必要がある。(日頃の健康チェック、健診受診、専門家によるアドバイス、日頃の生活習慣の改善・定着までの一連のサイクルを繰り返すことで、健康への関心が徐々に高まり、健康に配慮した行動が日常生活の中に定着する。)
- (イ) 地域・事業所の中での効果的な展開  
健康づくりに関心の低い方等への働きかけとして、「いつでも」「気軽に」「多様な連携」「体験」「営業」「可視化」が、重要なキーワードである。
- (ウ) 対象者への働きかけの工夫として、イベントに合わせた啓発・PR、家族を含めた意識啓発、地域や企業での連携が重要である。
- (エ) 歯周疾患健診については、事業所健診とセットで行うよう働きかけを行う。